

県北地域感染症情報レター(H28年度第9号)

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてはメールにて返信くださるようお願いいたします。
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

感染症発生動向調査 週報 ! 県北地域情報! (12月14日発表)

☆インフルエンザが流行しています! 今年は昨シーズンより1ヶ月早く流行開始となりました。インフルエンザは小児や高齢者、基礎疾患のある人では重症化することもあります。咳エチケットや手洗いうがいでの予防、早期受診を心がけてください。
 ☆感染性胃腸炎の患者報告が増加しています! 第49週(12月5日~11日)は、1~6歳の患者が約6割を占めています。原因の多くを占められるノロウイルスによる胃腸炎の感染経路は、経口感染、接触感染です。食事前や排泄後には、石鹸と流水で十分に手洗いをしましょう。

HIV/エイズについて

毎年12月1日は世界エイズデーです!

○HIV/エイズとは

エイズ(AIDS: Acquired Immuno-Deficiency Syndrome 後天性免疫不全症候群)は、HIV(Human Immunodeficiency Virus ヒト免疫不全ウイルス)に感染することで発症する病気です。HIVは、ヒトの免疫を担うCD4細胞という白血球に感染し、徐々に免疫力を破壊していきます。

○HIV 感染から発症まで

HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではありません。感染後、自覚症状のない時期が数年~10年以上続き、体の免疫力が低下したとき、本来ならば免疫力で抑えられるような病気(日和見感染症)や悪性腫瘍などを発症し、エイズ発症と診断されます。**エイズを発症するまで自覚症状が無い**ため、**知らないうちに感染を広げてしまう危険性があります。**

○疫学

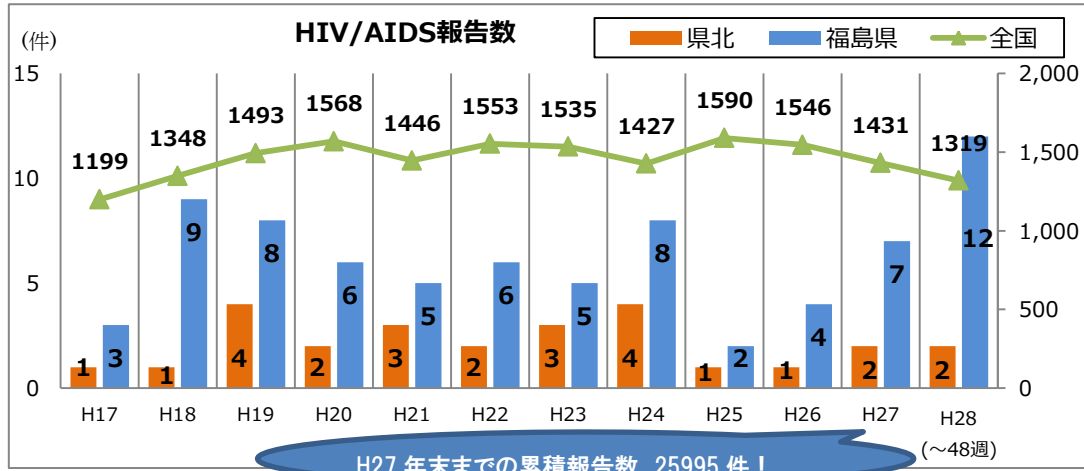
- ・HIV/AIDS 報告数に占めるエイズでの報告数が、毎年30%前後を占めています。
- ・20~40歳代の報告が多数です。
- ・男性の報告が大半を占めます。

○治療

数種類の薬を内服し、体の中のウイルス量を抑え続けます。薬を飲み忘れたり、中断したりしてしまうと、ウイルスが薬に対し耐性を獲得してしまうため、忘れずに飲み続けることが重要です。

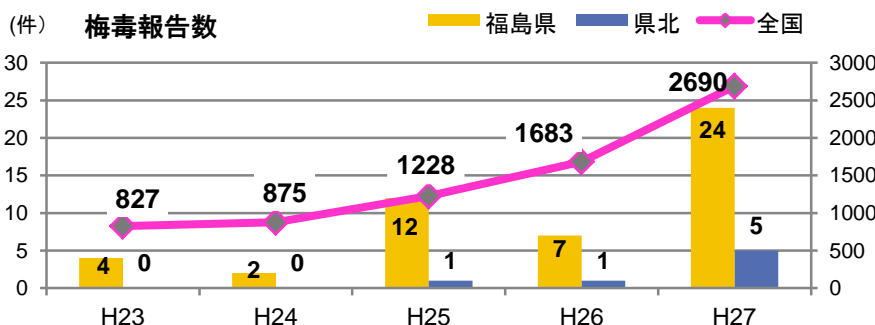
○感染経路、予防

- ・性行為による感染が最も多い感染経路です。HIVは感染者の血液、精液、膈分泌液に多く含まれ、性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通過してうつります。予防のためには、**無防備な性行為はしない、コンドームの使用が重要です。**
- ・その他、血液を介しての感染(覚醒剤などの回し打ちによる注射器具の共用など)、母子感染(母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時、また母乳を介しての感染)もあります。
衣類共用、ハンやコップの共用、便座や手すり、つり革の共用、蚊に刺されることなどでは感染しません。



梅毒について

梅毒トレポネーマという菌に感染することで発症します。主に性的接触で感染する性感染症で、**近年増加傾向にあります。**



○症状

- ・第I期梅毒(感染後数週間)…局所的にしこりや、無痛性リンパ節腫脹が見られますが、**自然治癒するため病院を受診せず、感染に気づかないことが多いです。**
- ・第II期梅毒(感染後4~10週間)…全身の発疹や脱毛、発熱などを呈しますが、無治療でも軽快してしまいます。
- ・晩期顕性梅毒(感染後数年)…皮膚や筋肉などにゴムのような腫瘍(ゴム腫)ができたり、心臓、脳など全身に症状が現れ、死に至ることもあります。

・先天性梅毒…梅毒に感染している女性が妊娠すると、死産、早産、奇形などのリスクがあります。無事に生まれても、生後全身に様々な症状を呈することがあります。

☆県北保健所でもHIVと梅毒(12月19日から開始)の検査を無料・匿名で行っています。
 第1~4月曜日 14時~16時(第1,3月曜日は17時半~19時)
 事前予約が必要です。詳しくは保健所HPをご覧ください。

性感染症は、感染してもすぐには症状に気づきにくく、知らないうちに周りに感染させてしまう、感染してしまう恐ろしさがあります。不安な人は、早めに検査を受けましょう。